



令和4年度
学校だより

No.13

若竹

令和5年3月1日

水戸市立千波小学校

- 【目指す児童像】
- ・明るく元気な子
 - ・意欲的な子
 - ・よく考える子
 - ・思いやりのある子
 - ・誠実な子
 - ・進んで働く子

第3回学校運営協議会を開催しました

令和4年度第3回学校運営協議会が2月21日(火)に千波小学校の会議室で開かれました。今回の学校運営協議会では、学校と家庭と地域が協働して、千波地区9年間の児童・生徒を育てるための活動の方向性や目的を話し合いました。そのため、千波地区の一小一中のよさを活かし、「小中学校児童・生徒の実態に合わせた継続可能な活動を実施していくこと」、「地域の願い、保護者の願い、学校の想いが伝わる子供たちを育てること」、「地域を愛し、地域に貢献する子供たちの成長を目指すこと」、「地域の人材を活かし、学校・保護者・地域が千波地区の子供たちを地域全体で支援していくような体制づくりをすること」を活動の方向性としていくことが話されました。また、学校運営協議会委員の方々からは、「元気に挨拶ができる子供たちであってほしい。」や「地域の行事への参加率をあげたい。」とのご意見もいただきました。小中学校の実態を見据えて、これからの小中一貫の教育活動の方向性をどうしていったらよいか、主な活動テーマとして提案されたことをまとめてみました。

■千波小中学校の実態から

- 基本的な習慣である「あいさつができること」は、全てのことにつながる。
- 地域力のある千波地区であるから、できる地域との協働を考えたい。
- 地域の行事等への参加について、広報誌やホームページでお知らせし、周知したい。
 - <児童の実態から>
 - ・自分から挨拶すると回答する児童は半数程度しかいない。
 - ・校内では挨拶できるが、校外でも挨拶できる子供たちになっているとまでは至っていない。
 - <生徒の実態から>
 - ・生徒は挨拶をしていると思っているが、伝わっているだろうか。
 - <保護者アンケートから>
 - ・自分の考えや意見を言うことができている保護者が半数程度しかいない。

■千波地区小中学校の主な活動テーマが提案されました。

「みんながつながる千波地区」

■マナー・モラルの向上、安全・安心なまちづくり めざす活動1 千波地区合同あいさつ運動		■地域への参画 めざす活動2 学校行事・地域行事への参加
<小中学生> マナー・モラルの向上 ・登下校時での地域の方とのあいさつ、小中の子供たちのあいさつへの交流、マナー・モラルの意識向上のための子供たちによるポスターの作成等のアイデアが出されていました。	<地域> 安心・安全なまちづくり ・小中学生の登下校時に、地域の方の協力をいただき、あいさつボランティア等のアイデアをいただきました。	
本校ホームページ・ブログの閲覧もお願いいたします。 http://www.magokoro.ed.jp/senba-e/ お子様のことや学校のこと、ご心配なことがありましたらご相談ください。 ☎243-1021		